



驚きの連続だった山行

---

## 越後 金城山

---

北沢

【日時】 2010年12月25日（土）～26日（日）

【メンバー】 L栗原、SL大野、佐貫、棚橋、五十嵐、古川、北沢、大平

金城山の存在を知ったのは山行が行われる4日前だった。名前を言われてもどこの山域かもわからないでいたら、「トマでは宮之浦岳(屋久島)より金城山の方が有名だよ。」と飯田さんが教えてくださった。「メジャーな山らしいし、新人4名も行くのだから難しい山ではないだろう」と安易な考えでいた私。「蝶ヶ岳より金城山の方が大変だから頑張てね。」とも飯田さんに言われたにもかかわらず・・・

1日目/12月25日（土） 曇りときどき晴れ

塩沢駅でステーションビバークをして6時に起床。身支度を整え、タクシーで観音山コースの登山口へ向かった。ビーコンチェックを済ませ、7時50分に出発。天気予報では猛吹雪と言っていたが、実際は曇りで雪も降っていないく、時々晴れ間が見えるくらいだった。

足首くらいの雪しかなく、サクサク登っていく。所々、観音様の石像があった。石像がなくなると、膝下くらいの雪量になった。1時間程歩くと5分の休憩とるといったパターンを繰り返した。

膝上くらいの雪量のところで「今年はそれほど雪が多くないね。」と佐貫さんが仰り、私は信じられないという目で見ってしまった。数回しか雪山に行ったことのない私は、越後の豪雪はこんなにも降るのかと驚いていたからだ。それと同時に、慣れない雪歩きとテント泊装備の重量で四苦八苦していた。そのうちに、ペースの遅い私に合わせてくださった佐貫さん、大野さんと私の3人と前の5人とで別れた。その後、藪が出てきた。ザックが木々に引っ掛かるだけでなく、疲労のために足が上がらず跨ぐのに時間がかかる。「このペースでは避難小屋につかないから」と7合目手前で私が持っていた共同装備を佐貫さんが、その他の個人装備の荷物を大野さんが持ってくださいました。申し訳ない気持ちで一杯だったが、軽身の私と2人の歩くペースが相変わらず同じだったので素直に甘えることにした。

7合目でスノーシュー、わかんをつけ、新人はハーネスもつけた。その後、アイゼンまたは、スノーシュー、わかんを適所でつけかえた。雪量も腰くらいまであり、前グループの方々は交替でラッセルを頑張ってくださいました。

途中で、金城山山頂と書いた木でできた杭があったのだが、数年前にはなかったし、ここは山頂ではないよねと話が飛び交った。その偽ピークを過ぎると一歩踏み出せば滑落するだろうと思われるところを歩いた。確かに高度感があったが、意識が朦朧としていた私は恐怖感がほとんどなかった。それ以上に、早く小屋に着いてほしいと願うばかりだった。



高度感あるはずの稜線歩き

しばらくすると、小屋が見えた。しかし、稜線に出たためか胸まである雪量に変わっていたのでなかなか着かない。それでも、着実に前へすすみ17時半には避難小屋についた。

小屋に着いてからは佐貫さんの美味しすぎる料理をいただいた。そして、大野さんのザックからはシャンパン1本、棚橋さんからはワインのボトル、五十嵐さんもワインが出てきて、皆で「メリークリスマス」とお祝いした。ここは本当に山の上なのだろうかと疑問が生じた。それくらい楽しく、美味しく、賑わった。お腹もいっぱいになったらすぐに睡魔が私を襲った。そのため、失礼ながらも一番疲れていないはずの私が、一番最初に眠ることになった。



後ろには越後駒が見える

2日目/12月26日（日） 晴れ

「5時には起きます」とリーダーが前夜言っていたが、皆が飛び起きたのは6時半だった。朝食をいただき、身支度を済まし外に出ると青空が見え、軽身でピークへ向かった。山頂では巻機山が目の前に凛々しくそびえ立っていた。八海山、越後駒も見えた。他の越後の山々が一望でき、本当に素晴らしかった。

小屋に戻って荷物を持ち下山した。夜の間に雪は降っておらず、トレースがしっかりあった。が、藪にひっかかる、雪に滑ってこけるなど私が足をひっぱっているうちに、やはり前日と同じように前後のグループに分かれた。それでも、時間が経つにつれて少しずつ慣れていき、最後の最後では追いつくことができた。

下山後、お試しだった大平さんが入会宣言をし、誰ひとり怪我もなく、めでたく下山報告ができたのだった。

《新人4名の感想》（敬称略）

2010年1月8日には三合目までしか行けなかった金城山。思えば遅々として進まないラッセルが敗退の原因だった。今回はラッセルブラザーズ（古川さん&大平さん）の爆音



が聞こえてくるような前進により登頂成功。山頂から巻機山へと伸びる稜線に決意を新たにしたのでした。大平さん、古川さん、北沢さん。2010年入会組として一緒にがんばりましょう！（三十路は一人・・・）。（五十嵐）

今回の山行はラッセルばかりでしたが、自分にはそれがとても楽しかったです。雪と格闘するのは気持ち良いものでした。また、トマでの泊まりの山行は初めてだったので、食事の豪華さや宴会の様子にはかなり驚きました。ただ、自分が食事係になることを考えると少々気が重くなってしまいました。大平さんも無事に入会してくださり、良い山行となったと思います。皆さんありがとうございました。（古川）

久々の冬山行でしたが、お世話になりっぱなしで本当に感謝しております。1日目のラッセルでは、最後のほうは着いていくのに必死で体力不足を実感しました。それでも、いつまで経っても終わらない(始まらない)夕食は、疲れも吹っ飛ばすくらい楽しかったです。2日目の金城山ピークでは、眺めも良くて天気に恵まれました。これからも充実した山行ができるように、日々精進したいと思います。今後ともよろしくお願ひします。お試し山行、参加させて頂いてありがとうございました。（大平）

初めての会での山行、初めての本格的な雪山で初めて尽くして始まった今回の山行。情けなくも荷物を持っていただいたり、手が冷え切ってしまっていて温めていただいただけでなく、手袋を貸していただいたりと本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。それでも、二度と雪山には行きたくないと思わないのはなぜでしょうか。それは、山頂での絶景を見てしまったからだと思います。これからはご迷惑をかけぬよう、また、私自身ももっと楽しめるようにしていきたいです。今後よろしくお願ひ致します。（北沢）

【行程】12/25 観音山コース登山口(7:49)～7合目(12:09/27)～Co1150m(13:37/58)～金城山避難小屋C1(17:09)

12/26 C1(8:10)～金城山山頂(8:17/29)～Co1150m(9:33/47)～7合目(10:15/38)～Co632m(11:18/29)～観音山コース登山口(12:09)

【地図】六日町